

IDmelon

管理パネルの使い方

2022

著作権

このドキュメントに含まれる情報は、IDmelon Technologies Inc.の所有物です。会社の書面による同意なしに、
実行または実装のために悪用または利用することはできません。

免責事項

このドキュメントの内容は、方法論、設計、および製造の継続的な進歩により、予告なしに改訂される場合があります。
IDmelon は、このドキュメントの使用に起因するいかなる種類のエラーまたは損害についても責任を負わない
ものとします。

内容

IDmelon 管理パネルへのアクセス

ワークスペースの作成：パネル登録

パスワードなしのサインインオプション

登録の完了

管理パネルの概要

ナビゲーションメニュー

セキュリティと個人情報

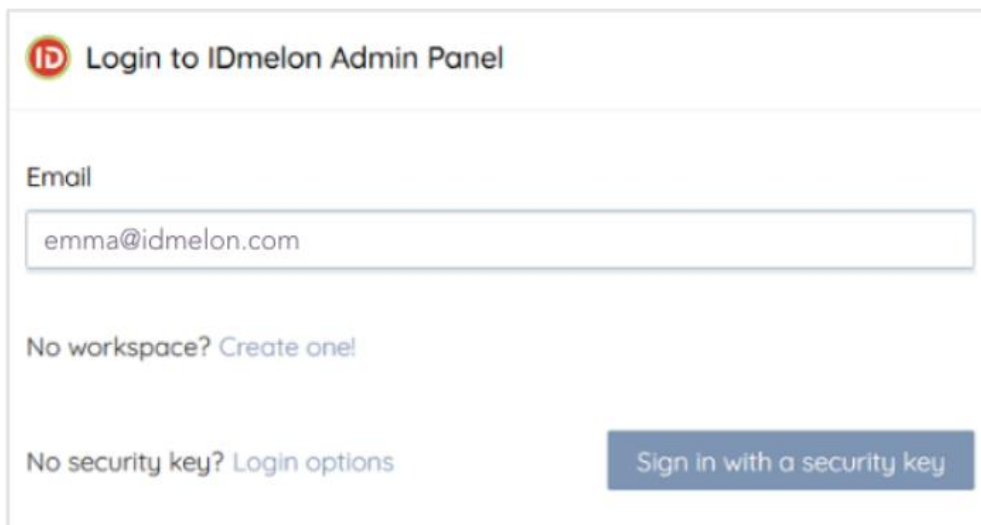
IDmelon パスワードレス認証システムの非常に重要な側面は、IDmelon 管理パネルから管理できます。これには、ユーザーのセキュリティキーの登録とアクティブ化、アクセスの即時許可または制限、ユーザーのアクセスの注意深い監視、ライセンスの管理などが含まれます。


IDmelon 管理パネルへのアクセス

IDmelon 管理パネルにアクセスするには、次の IDmelon 管理パネルに移動します。

<https://panel.idmelon.com/#/auth/login>

ログインするメールアドレスを入力するか、初めての場合はワークスペースを入力してください。



 Login to IDmelon Admin Panel

Email

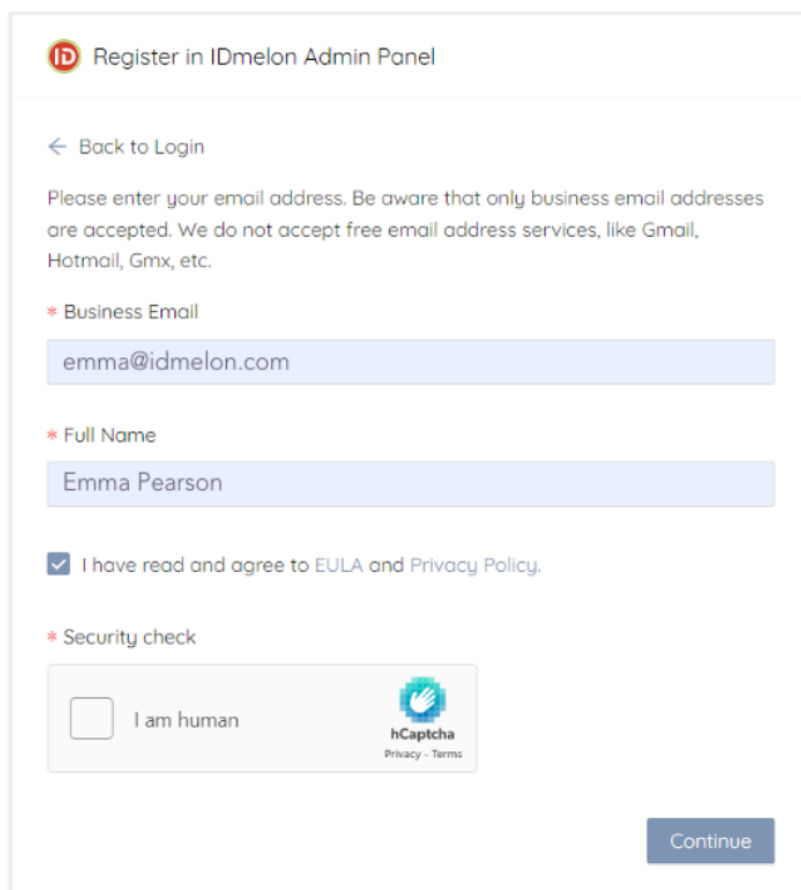
No workspace? [Create one!](#)

No security key? [Login options](#)

[Sign in with a security key](#)

ワークスペースの作成：パネル登録

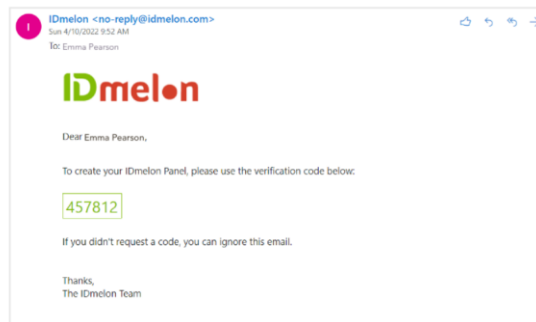
組織を代表して新しいワークスペースを作成するのが初めての場合は、[create(作成)]をクリックして以下のページを表示してください。ビジネスメールと名前（姓名）を入力します。また、合意やロボット検査にチェックを入れます。



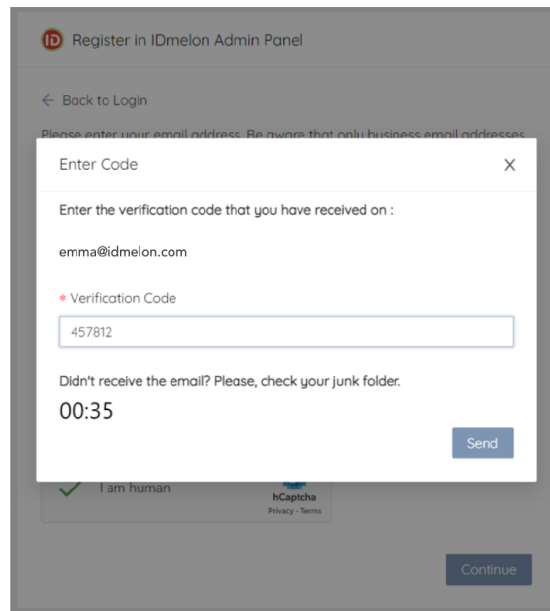
The screenshot shows the registration page for the IDmelon Admin Panel. At the top, there is a header with the IDmelon logo and the text "Register in IDmelon Admin Panel". Below this, there is a link to "Back to Login". The main content area contains instructions: "Please enter your email address. Be aware that only business email addresses are accepted. We do not accept free email address services, like Gmail, Hotmail, Gmx, etc." There are three required fields: "Business Email" with the value "emma@idmelon.com", "Full Name" with the value "Emma Pearson", and a checkbox for "I have read and agree to EULA and Privacy Policy." which is checked. Below these is a "Security check" section with an "I am human" checkbox and an hCaptcha widget. A "Continue" button is located at the bottom right of the form.

組織を表すためにビジネス用メールアドレスを入力する必要があることに注意してください。無料のドメインでメールを使用して接続します。エンドユーザー使用許諾契約とプライバシーポリシーをスキップしたくなるかもしれませんが、それらを読み、お互いに何を期待しているのかを相互に理解することが重要です。

メールアドレスを確認するために、確認コードがメールで届きます。

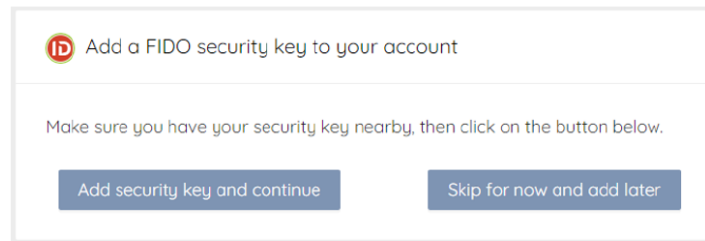


メールのコードをパソコンに入力します。



パスワードなしのサインインオプション

次に、パネルにログインする方法を選択する必要があります。

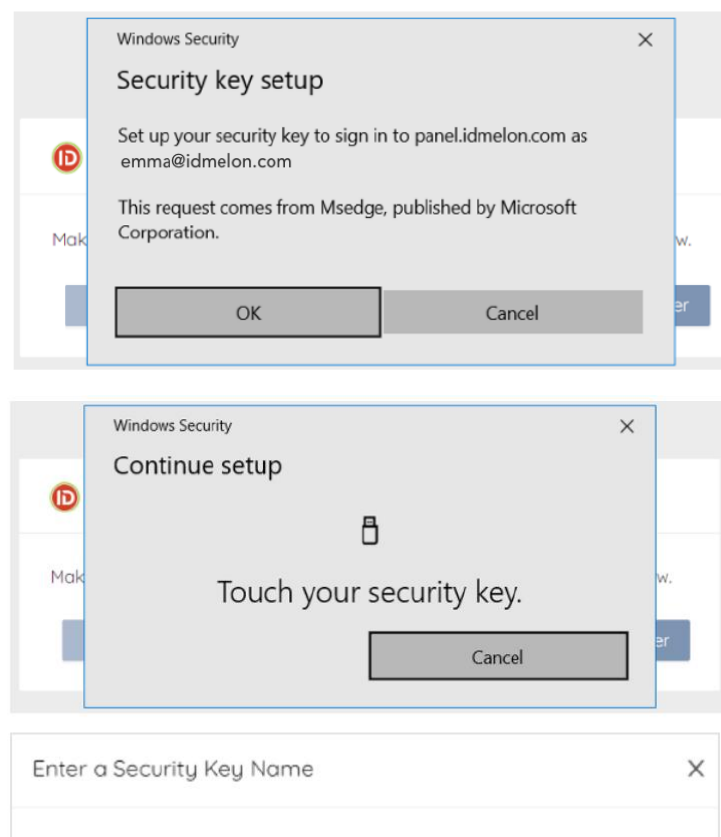


Add Security Key and continue / Skip now and add later

今すぐまたは後でセキュリティキーを追加できます。

1) 今すぐの場合は、

以下のようにセキュリティキー入力のポップアップのウィンドウが現れます。



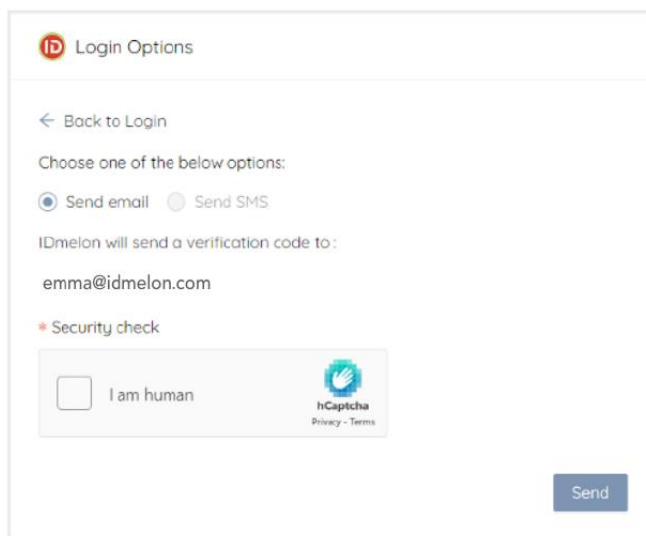
登録したスマートフォンにプッシュ通知が来ますので、それに従って承認と生体認証を実行します。認証に成功してセキュリティキーの名前を書きます。

Enter a Security Key Name ×

* Security Key Name

Save

2) ログインごとに電子メールまたはSMSで確認コードを受け取ります。



IDmelon Login Options

← Back to Login


Choose one of the below options:

Send email Send SMS

IDmelon will send a verification code to:

emma@idmelon.com

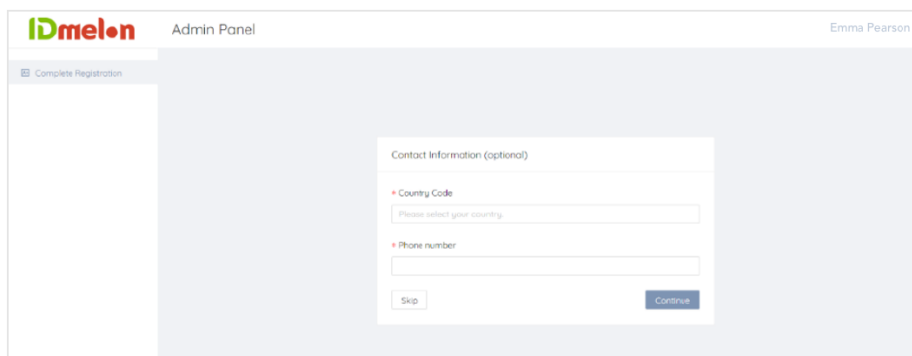
* Security check

I am human 

Send

登録の完了

ビジネスワークスペースを作成するには、いくつかの情報を提供する必要があります。電話番号を入力する必要はありませんが。



IDmelon Admin Panel Emma Pearson

Complete Registration

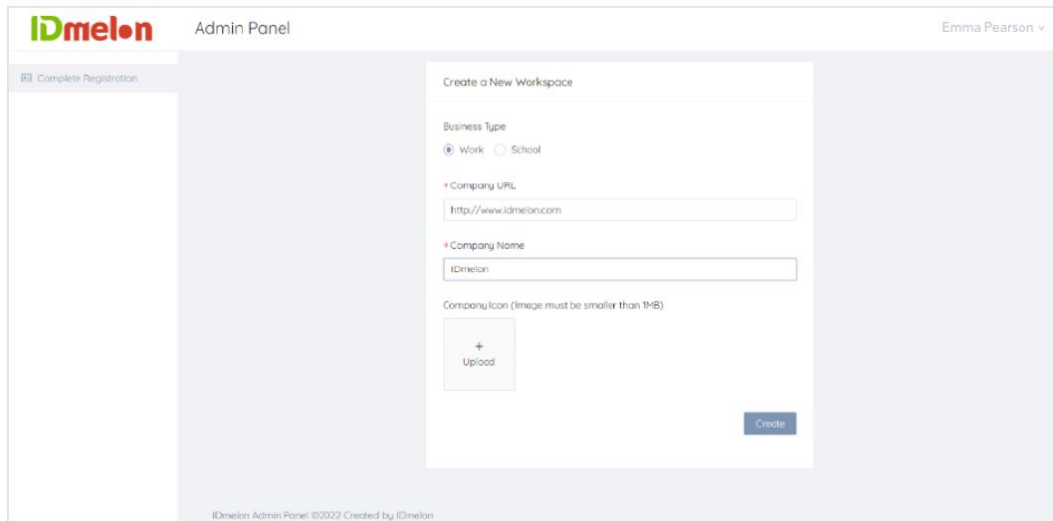
Contact Information (optional)

* Country Code
Please select your country.

* Phone number

Skip Continue

会社の URL と名前を提供する必要があります。



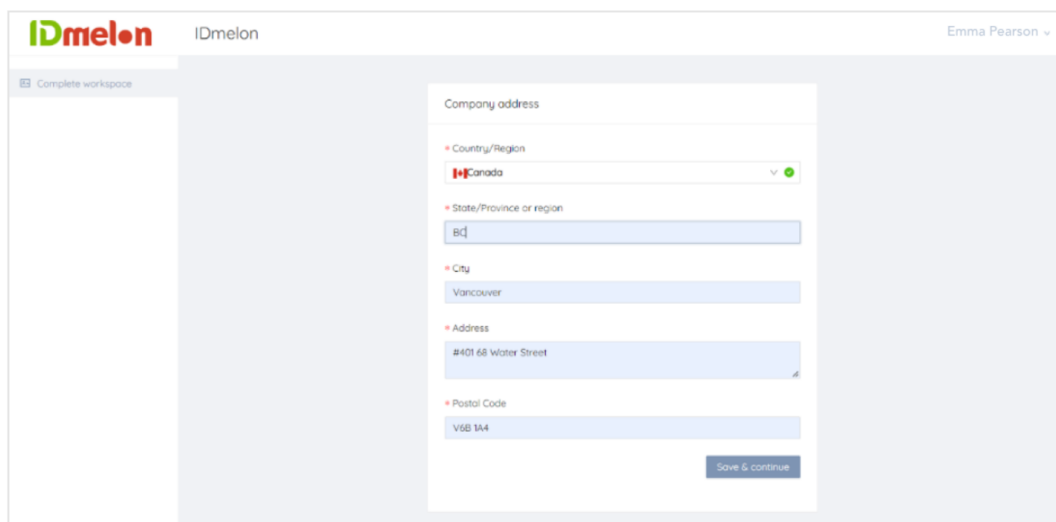
The screenshot shows the 'Create a New Workspace' form in the IDmelon Admin Panel. The form includes the following fields and options:

- Business Type:** Radio buttons for 'Work' (selected) and 'School'.
- Company URL:** Text input field containing 'http://www.idmelon.com'.
- Company Name:** Text input field containing 'IDmelon'.
- Company Icon:** A section with the instruction '(Image must be smaller than 1MB)' and an 'Upload' button.
- Create:** A blue button at the bottom right of the form.

The page header shows 'IDmelon Admin Panel' and the user 'Emma Pearson'. A breadcrumb trail indicates 'Complete Registration'.

会社のアイコンまたはロゴの追加はオプションであることに注意してください。

次に、会社の住所を指定する必要があります。

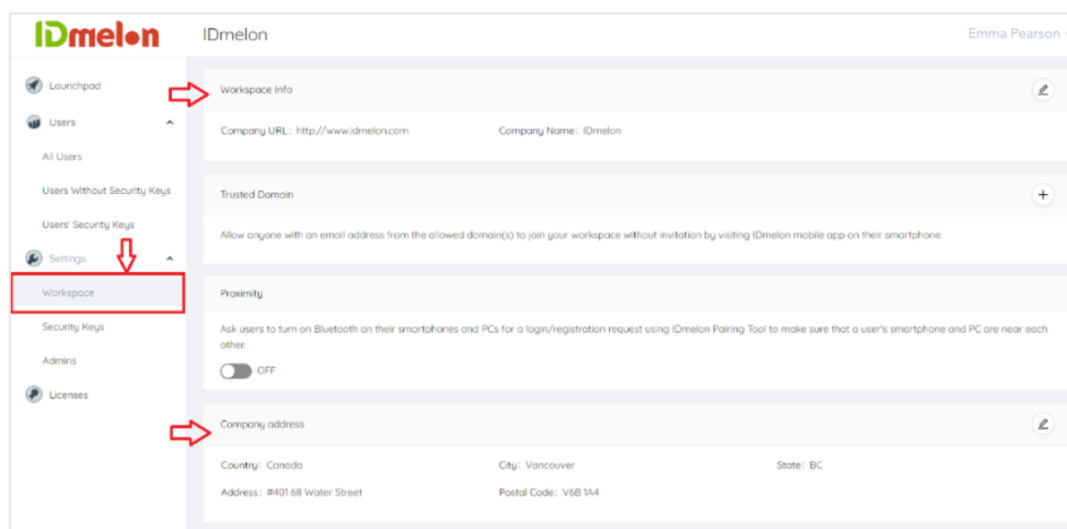


The screenshot shows the 'Company address' form in the IDmelon Admin Panel. The form includes the following fields and options:

- Country/Region:** A dropdown menu with 'Canada' selected.
- State/Province or region:** Text input field containing 'BC'.
- City:** Text input field containing 'Vancouver'.
- Address:** Text input field containing '#401 68 Water Street'.
- Postal Code:** Text input field containing 'V6B 1A4'.
- Save & continue:** A blue button at the bottom right of the form.

The page header shows 'IDmelon IDmelon' and the user 'Emma Pearson'. A breadcrumb trail indicates 'Complete workspace'.

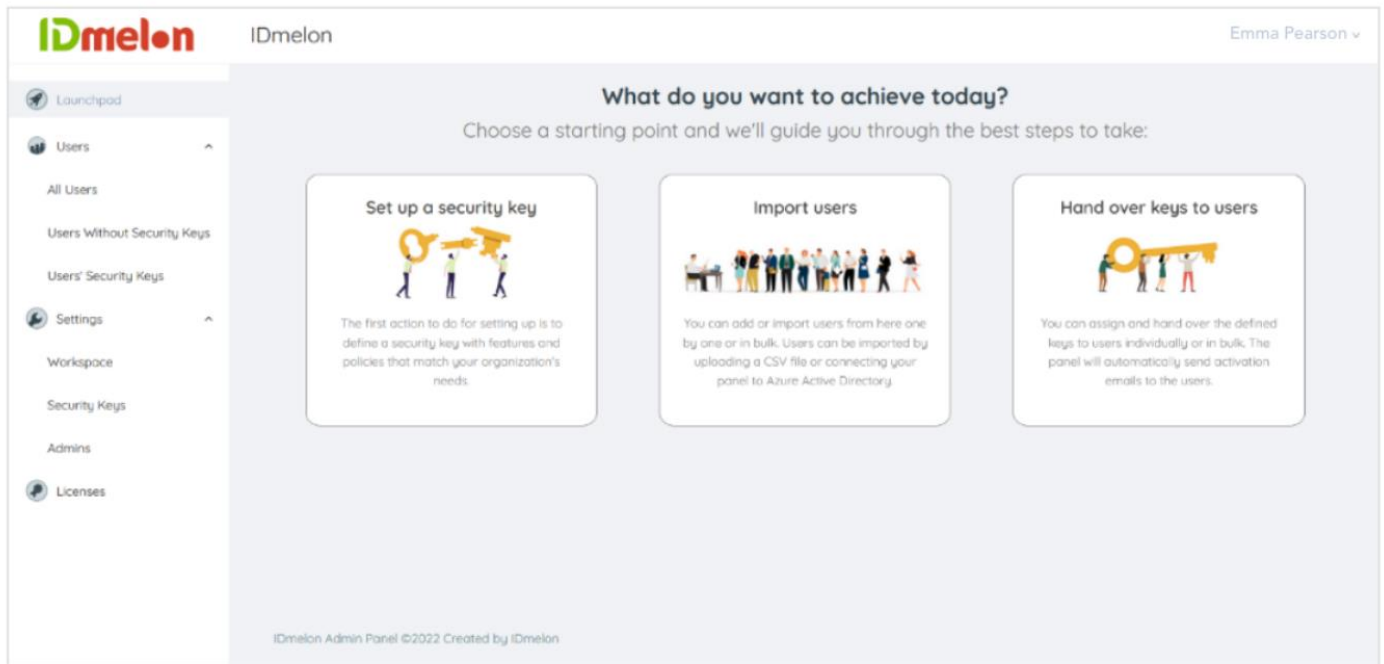
提供する情報は、後でパネルの左側にあるナビゲーションメニューの[設定]の[ワークスペース]セクションで見つけられます。



ここで、同じページで、プロキシミティを有効にしたり、信頼できるドメインを追加したりすることもできます。

管理パネルの概要

管理パネルには、組織内のユーザーアクティビティのスナップショットが表示されます。



ナビゲーションメニュー

パネルの左側に 6 つのエントリがあるサイドバーとして表示されるナビゲーションメニューを使用すると、各エントリをクリックして情報またはアクティビティを管理または表示できます。

(1) キーの命名 (2) ユーザー (3) 設定 (4) ライセンス (5) SSO (6) 管理者プロフィール
の項目があります。

(1) キーの命名と割当 (Launchpad)

セキュリティキーの設定を開始し、ユーザーをインポートし、キーをユーザーに渡すための最善の最初のステップを実行します。

1-1. セキュリティキーのタイプ設定

セットアップのために行う最初のアクションは、組織のニーズに一致する機能とポリシーを備えたセキュリティキーを定義することです。

キーのタイプを以下のように定義します。。

タイプ名： 任意の名前

資格情報の保存場所： スマートフォン/クラウド HSM (Hardware Secure Module)

認証方法: スマートフォン/PIN

管理可能か： auditable or not

1-2. ユーザーのインポート

ここからユーザーを 1 人ずつ、または、まとめて追加またはインポートできます。ユーザーは、

1. 一人ずつ
2. CSV ファイルをアップロード
3. 管理パネルを Azure Active Directory に接続してインポート

できます。

1-3. キーをユーザーに渡す

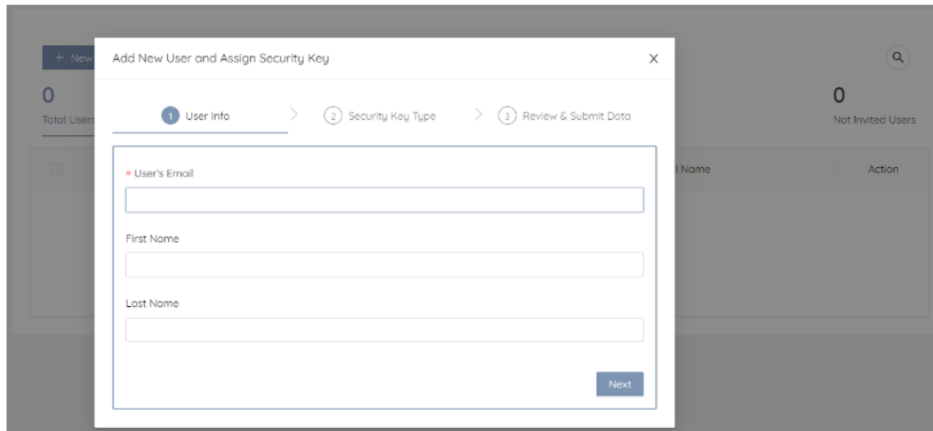
定義されたキーを個別にまたは一括でユーザーに割り当てて渡すことができます。パネルは自動的に有効化メールをユーザーに送信します。

(2) ユーザー

ユーザーの追加、インポート、表示、削除、およびセキュリティキーの割り当て。バルクボタンを使用すると、CSV ファイルから、または AzureAD への接続を介してユーザーをインポートできます。1 つまたは複数のユーザーをワークスペースに追加するときに、1 つまたは複数のセキュリティキーを割り当てることができることに注意してください。

(2)-1. ワークスペースにユーザーの追加

キーの命名と割り当て (Launchpad) > Import Users > Add a user > ①User Info



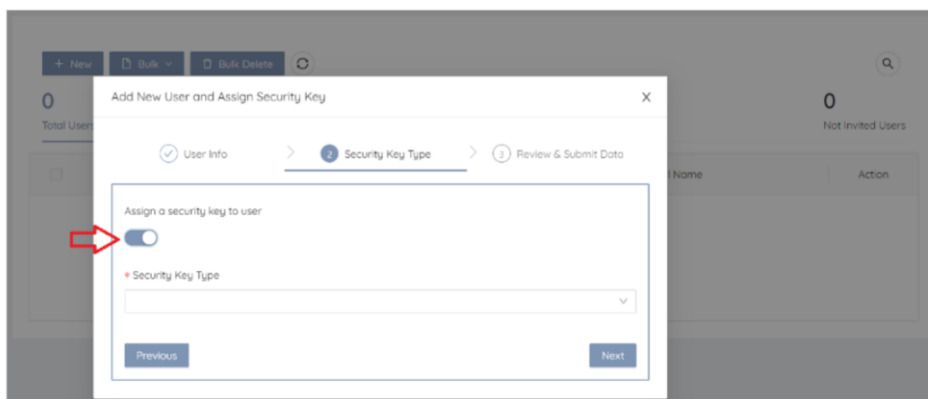
The screenshot shows a modal dialog titled "Add New User and Assign Security Key" with a close button (X) in the top right. The dialog has three steps: 1. User Info, 2. Security Key Type, and 3. Review & Submit Data. Step 1 is active. The form contains the following fields:

- User's Email**: A text input field with a red asterisk indicating it is required.
- First Name**: A text input field.
- Last Name**: A text input field.

A "Next" button is located at the bottom right of the form.

②Security key type の"Assign security key to users"の

Security key トグルキーをオンにする。

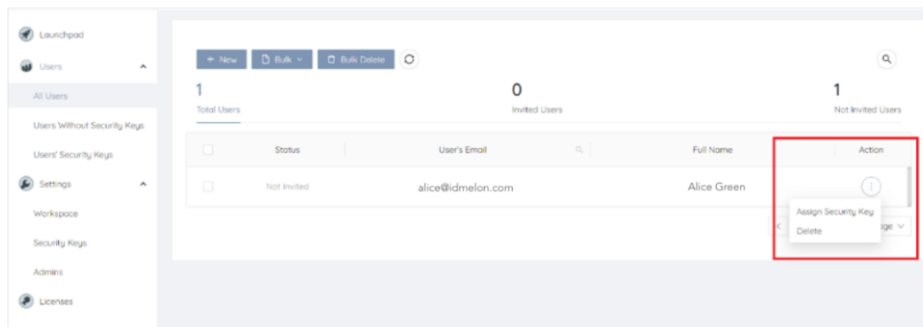


The screenshot shows the same modal dialog, now at step 2: Security Key Type. The progress indicator shows step 1 is complete and step 2 is active. The form contains the following elements:

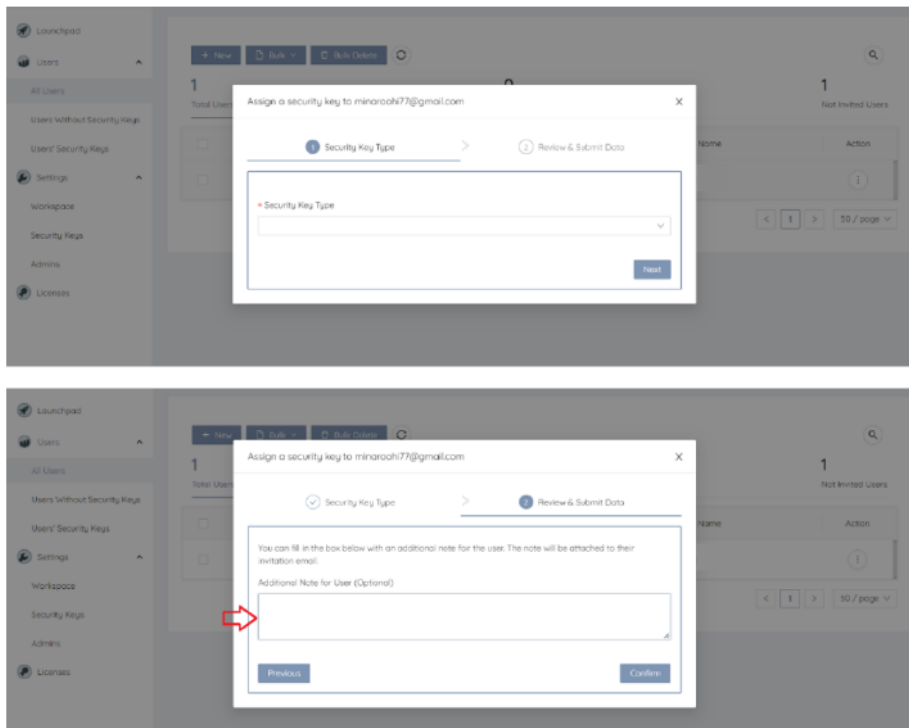
- Assign a security key to user**: A toggle switch that is currently turned on (blue). A red arrow points to this toggle.
- Security Key Type**: A dropdown menu with a red asterisk indicating it is required.

"Previous" and "Next" buttons are located at the bottom of the form.

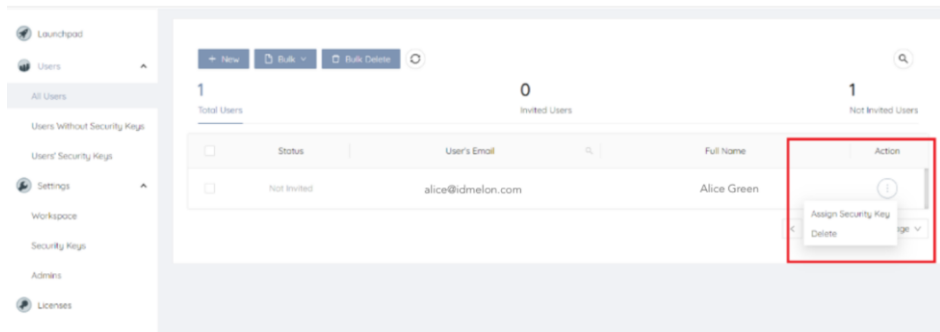
上記トグルキーをオフにすると、後でセキュリティキーを割当てするまで、ユーザーは招待メールを受信しません。



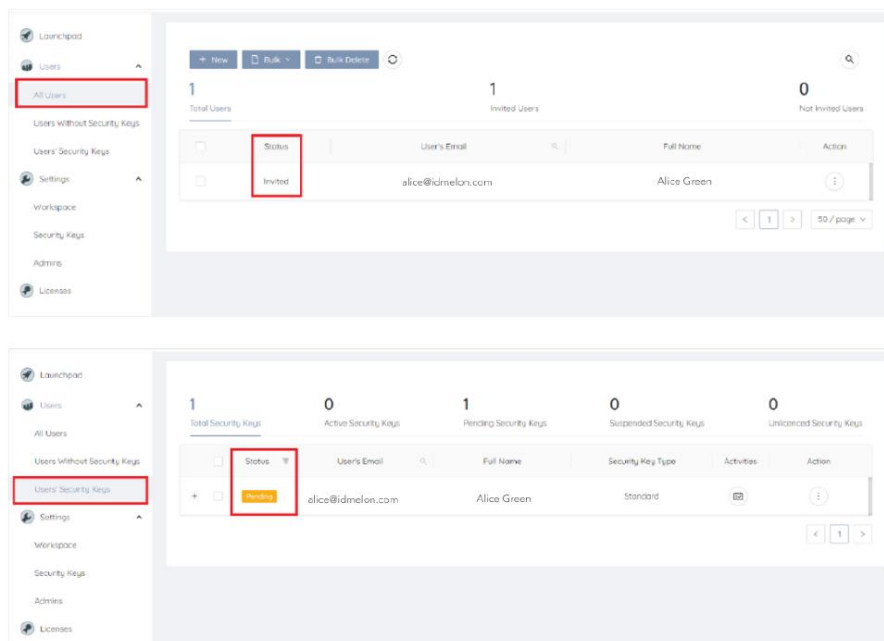
ユーザーへの招待メールの中に追加のメモを同封することもできます。



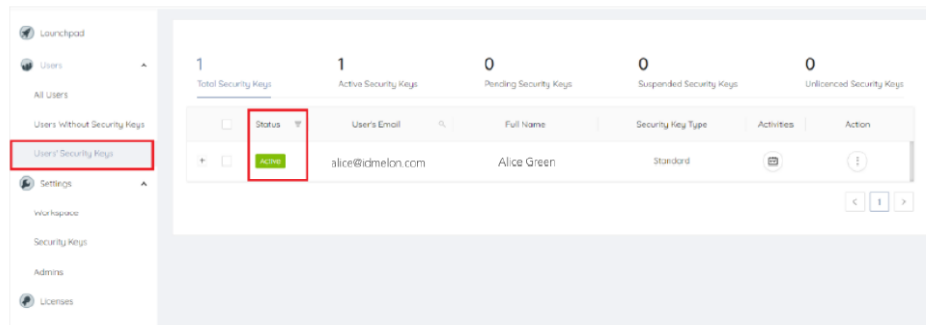
ワークスペースにユーザーを追加したが、ユーザーにセキュリティキーを割り当てないとすぐに、[すべてのユーザー] エントリのユーザーのステータスが[招待されていません]に変わります。



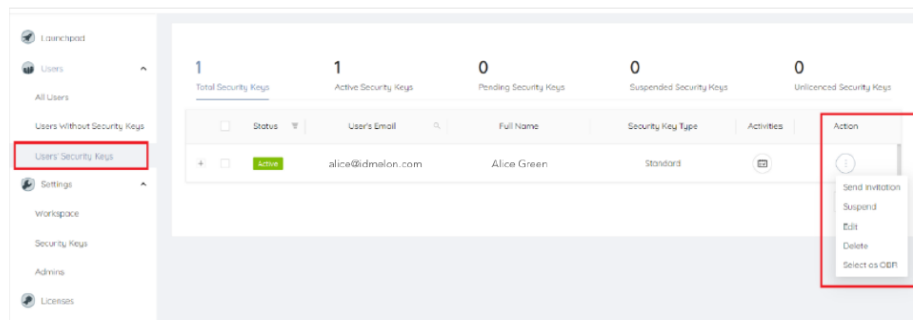
ただし、ユーザーにセキュリティキーを割り当てた直後に、ユーザーのステータスは招待されますが、ユーザーのセキュリティキーエントリのセキュリティキーのステータスは、ユーザーがセキュリティキーを有効化するための招待メールを受信するまで保留のままになります。



ユーザーのスマートフォンでセキュリティキーを有効化した直後に、ステータスは有効に変わります。



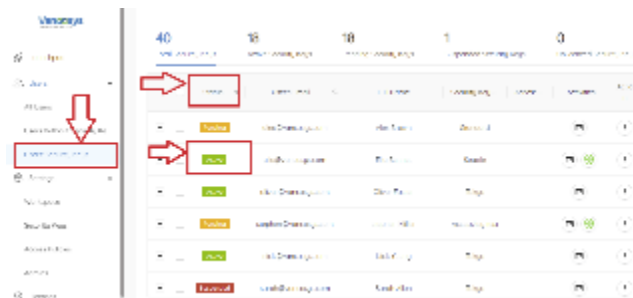
[ユーザーのセキュリティキー]セクションでは、各セキュリティキーのステータスを表示したり、ユーザーに招待メールを送信してセキュリティキーを有効にしたり、セキュリティキーを一時停止してユーザーのアクセスを一時的に制限したり、セキュリティキーの種類を編集したり、セキュリティキーを削除したりできます。ユーザーのアクセスを永続的に制限し、OBR（登録の代行）を選択してユーザーに代わってセキュリティキーを登録します。



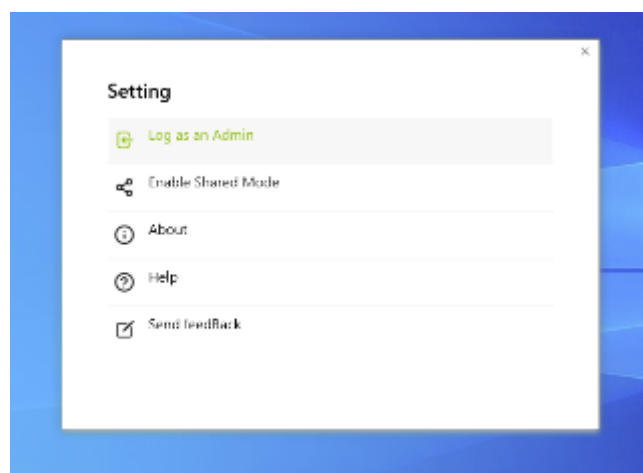
(2)-2 OBR（登録の代行）

事前の準備

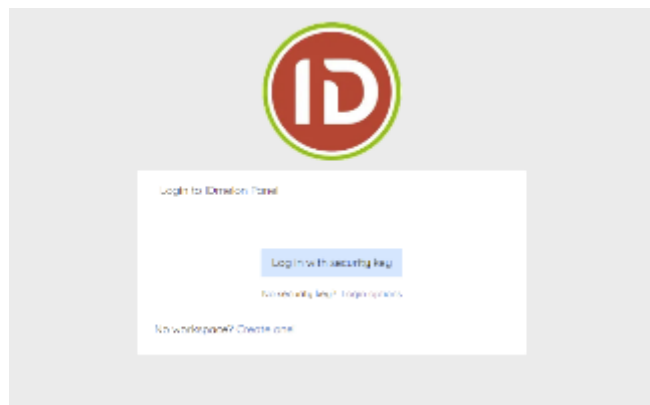
- ユーザーは、IDmelon 認証器アプリを自分のスマホにインストールします。
- 管理者はパネルから招待メールによって対象ユーザーをパネルに加えておきます。(ユーザーのキータイプは、HSM を使うタイプと使わないタイプどちらでも構いません)
- ユーザーは招待メールを受信、承諾して、パネルのキー状況を有効にさせます。



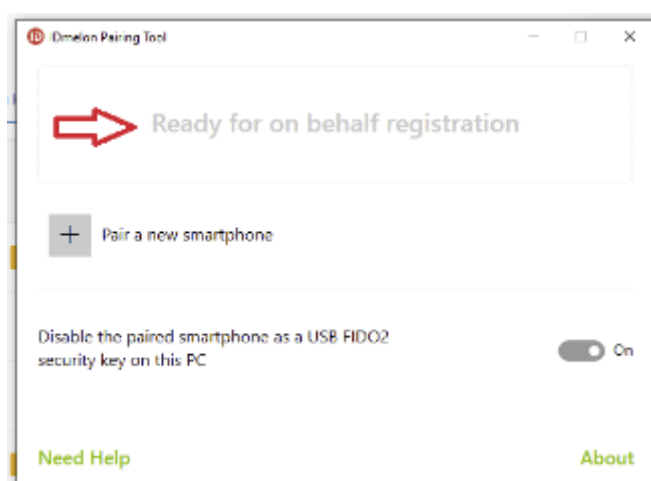
1. 管理者は自分のパソコン上で、以下の操作を行います。ペアリングツールを開き、“Ctrl + i” を押して、[管理者としてログイン]を選択します。



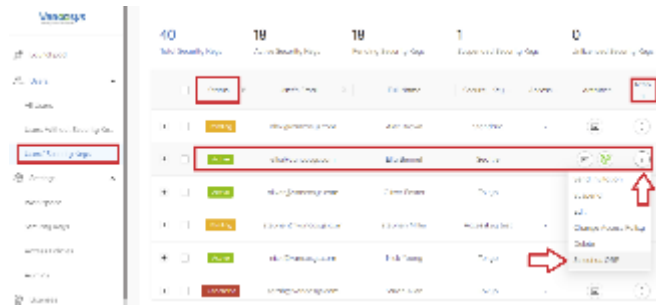
2. ログインが必要な管理パネルにリダイレクトされます。



3. サインインに成功すると、ペアリングツールのステータスが「登録の準備ができました」に変わります。つまり、IDmelon ポータルですでに追加/有効化されているユーザーの場合、ユーザーに代わってログインし、セキュリティキーを登録することができます。



4. リストからユーザーを選択し、「Select as OBR」を選択して、ユーザーがパネル上に「OBR」の記号でマークされていることを確認します。

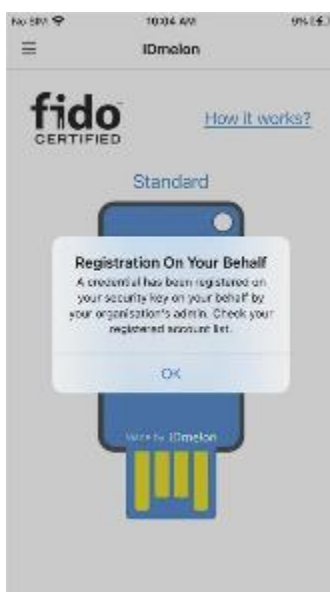


5. これで、管理者はユーザーの例えばマイクロソフトアカウントへ、ユーザーの代理として、ユーザー名とそのパスワードを使ってログインでき、IDmelon セキュリティキーを追加/登録できます。(ここでは、テストとして、Webauthn.io のプラットフォームを使用します。 [WebAuthn.io](https://webauthn.io) >> Enter the username>> Register)





6. 直ちに、ユーザーは自分のスマホにプッシュ通知が届きます。管理者が OBR を実行していることを知ります。



7. ユーザーは自分のスマートフォンを使って自分の PC 上で IDmelon ログインが直ちに実行できます。Windows プラットフォームについても同じ手順で OBR ができます。

(3) 設定 (Settings)

ワークスペースと会社の情報を表示/編集し、さまざまな種類のセキュリティキーを作成し、ユーザーに管理者の役割を割り当てます。

(3)-1 セキュリティキー

クレデンシャルを保存する場所と、ユーザーのスマートフォンまたは CloudHSM のいずれかに保存できる資格条件

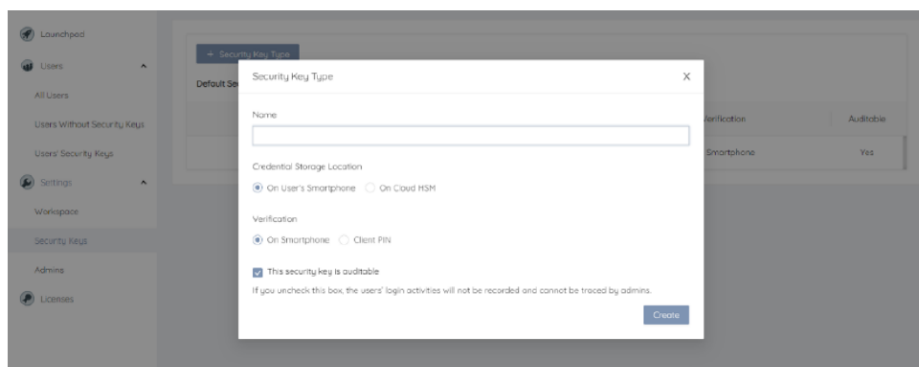
(クレデンシャル) を使用するユーザー検証方法に応じて、割り当てるさまざまなタイプのセキュリティキーを作成

します。後者の場合、用途のスマートフォンが変更された場合、登録されている資格情報が復元されます。

ユーザーを確認するには、2つの方法があります。ユーザーは、バイオメトリクスなどのスマートフォンでローカル認

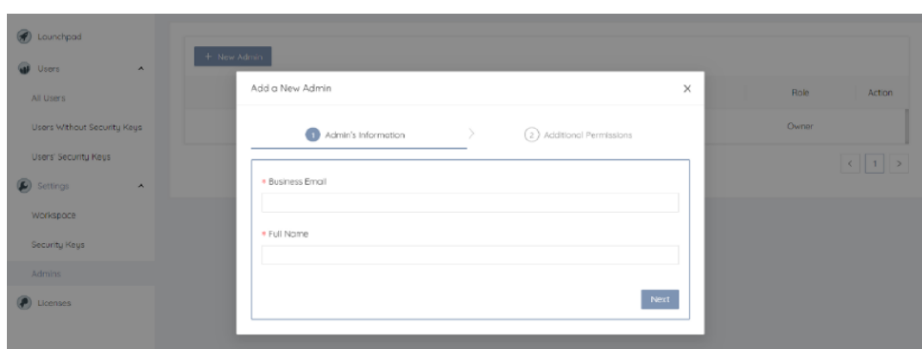
証を使用するか、以前に設定した PIN を入力することができます。後者は、ユーザーが手袋やマスクを着用する必要

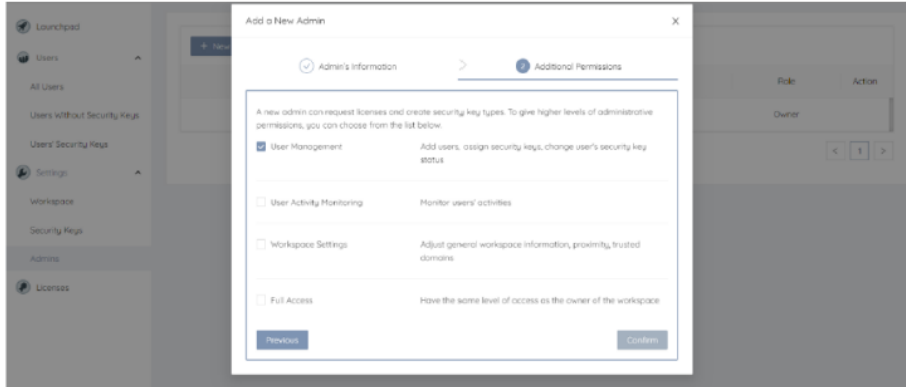
があるため、指紋などの生体認証識別子を提供できない職場に適しています。



(3)-2 管理者 (Admin)

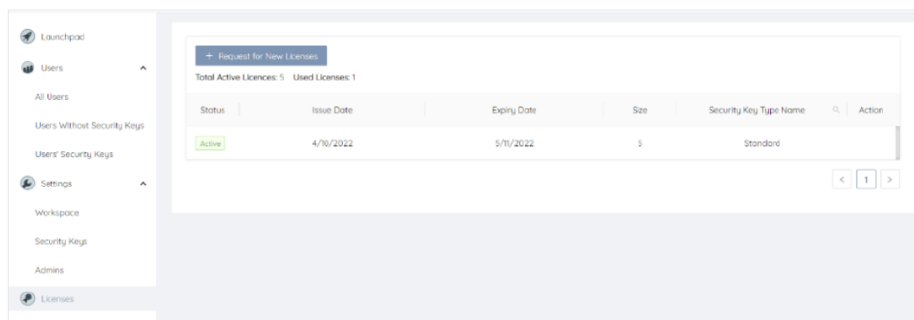
貢献するために、電子メールを介してさまざまなレベルの管理者権限を持つ管理者ロールをユーザーに割り当てます。





(4) ライセンス

ライセンスの総数と使用済み/割り当て済みのライセンスを表示します。

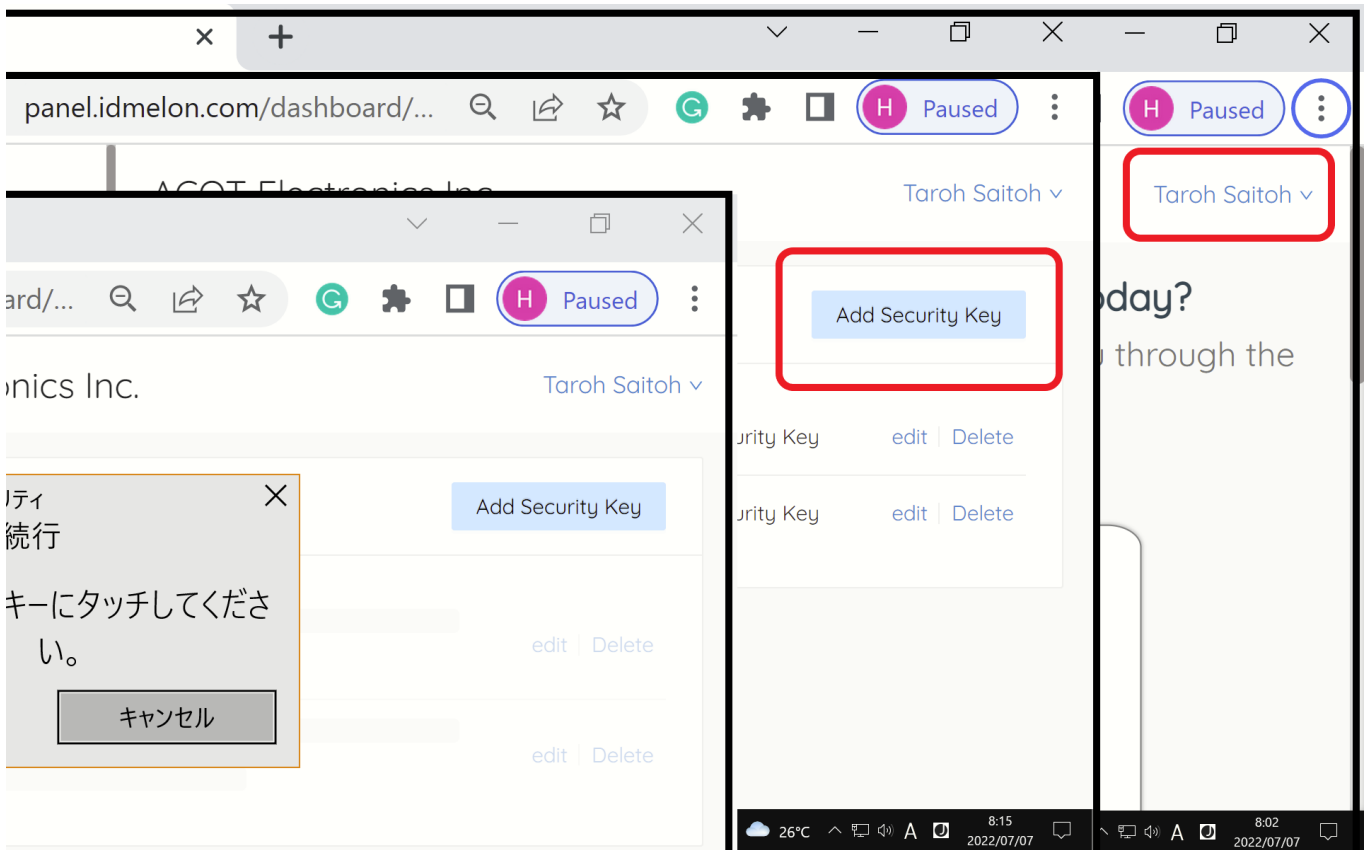
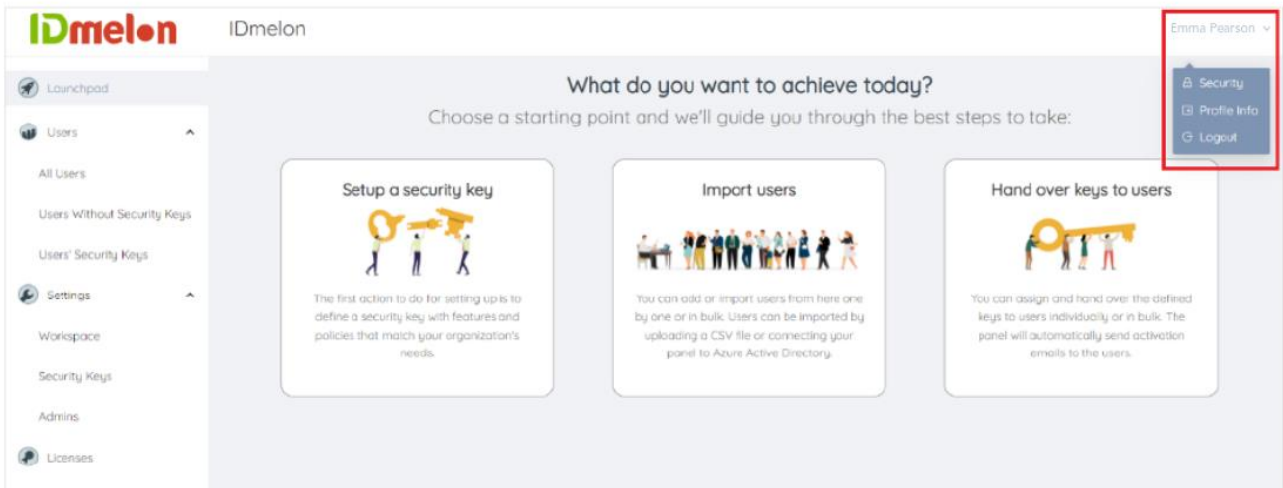


Status	Issue Date	Expiry Date	Size	Security Key Type Name	Action
Active	4/16/2022	5/11/2022	5	Standard	

(5) SSO

(6) セキュリティと個人情報

パネルの右上隅にあるユーザー名をクリックすると、個人情報を編集したり、セキュリティキーを追加してパネルにログインしたり、パネルからログアウトしたりできます。IDmelon の管理パネルへログインできるキーは、IDmelon のマークでスマートフォンに現れます。これを追加したい場合名でこの機能を利用できます。



For OBR, please, take the following detailed steps:

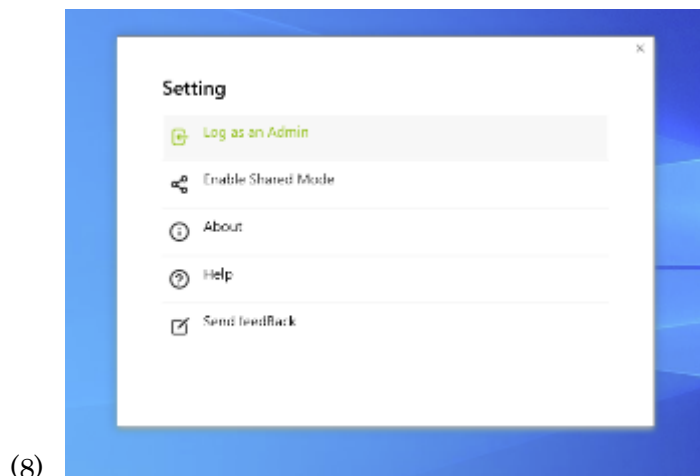
Prerequisite for OBR:

- (3) User must install IDmelon Authenticator app on his smartphone.
- (4) Admin must add the user to the panel (via invitation email from the panel).
- (5) User receives the invitation email, accepts, and his Security Key Status will be active in the panel.

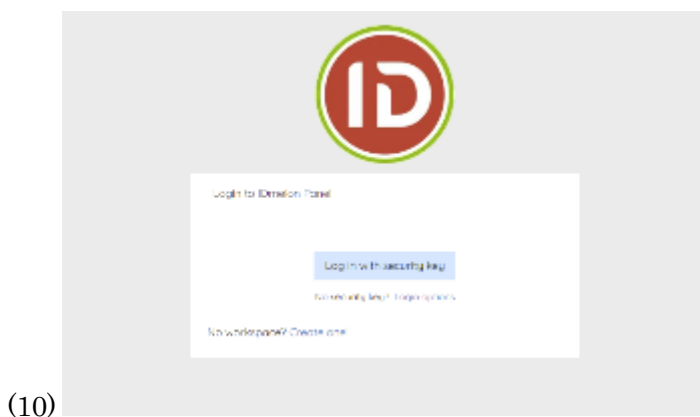


OBR steps:

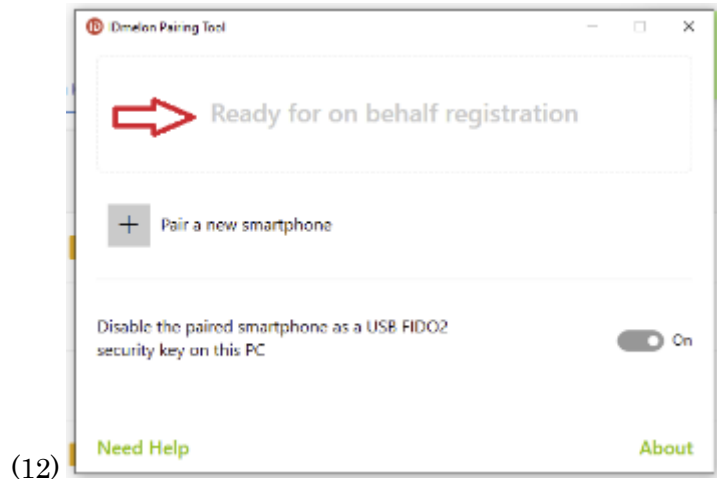
(7) Admin opens Pairing Tool, presses **Cntl+I** to choose **Login as an Admin**.



(9) Admin will be redirected to the admin panel to log in.



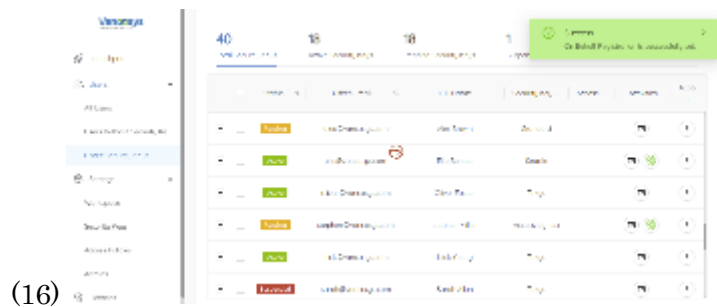
(11) After login, check Pairing Tool again to see **Ready for on behalf registration**.



(13) Admin can choose a user from the panel: **Users>> Users' Security Keys>> Choose a user>> Action>> Select as OBR.**



(15)



(17) Now, admin can log into the user's Microsoft account, for example, by entering the user's username and password to add/register IDmelon security key on behalf of the user. But here, as an example, we use WebAuthn.io platform for the test: [WebAuthn.io](https://webauthn.io) >> Enter the **username**>> **Register**



(18)

What is WebAuthn?

(19) ↓



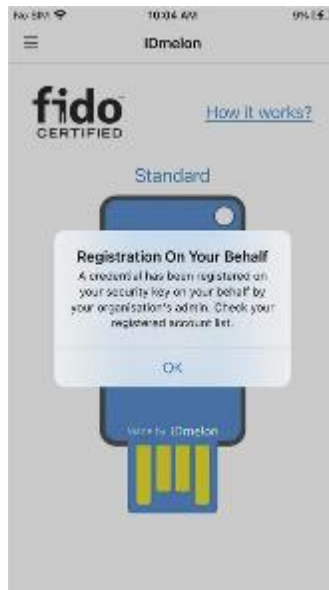
(20)

(21) ↓



(22)

(23) The user will immediately receive a notification on his smartphone and understands that their admin is doing an OBR.



(24)

Thanks,

Mina Roohi

Content and Digital Marketing Manage